

本リストの作成に伴い「要注意外来生物」という区分は廃止されました。

生態系被害防止 外来種リスト

正式名称：我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト



環境省



農林水産省

ここがポイント！「生態系被害防止外来種リスト」

Q1. 何に関するリストですか？

A 外来種について、日本及び海外等での生態系等への被害状況を踏まえ、日本における侵略性を評価し、リスト化したものです。「総合対策外来種」、「産業管理外来種」、「定着予防外来種」のカテゴリに分類されています。

Q2. 生態系被害防止外来種リストを作成した目的は何ですか？

A 多くいる外来種の中から、特に注意が必要な外来種を明確にすることはとても重要です。リスト掲載種について、適切な行動を呼びかけることで、生態系等への被害を防止することを目的としています。

Q3. 掲載種は輸入や飼育等が規制されているのですか？

A 外来生物法に基づいて輸入や飼育・栽培、運搬等が規制される特定外来生物も全て含まれています。それら以外の掲載種については外来生物法の規制はありませんが、生態系等への被害を及ぼすおそれがあるため、「入れない、捨てない、拡げない」の遵守など、取扱いには注意が必要です。

カテゴリ区分

合計

429

種類

総合対策外来種（総合的に対策が必要な外来種）

310 種類

国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害を及ぼしている又はそのおそれがあるため、防除・遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要。

緊急対策外来種

対策の緊急性が高く、積極的に防除を行う必要がある。

重点対策外来種

甚大な被害が予想されるため、対策の必要性が高い。

その他の総合対策外来種

産業管理外来種（適切な管理が必要な産業上重要な外来種）

18 種類

産業又は公益性において重要で、代替性がなく、その利用にあたっては適切な管理が必要。

定着予防外来種（定着を予防する外来種）

101 種類

国内に未定着のもの。定着した場合に生態系等への被害のおそれがあるため、導入の予防や水際での監視、野外への逸出・定着の防止、発見した場合の早期防除が必要。

侵入予防外来種

国内に導入されていない種。導入の防止、水際での監視等により侵入を未然に防ぐ必要がある。

その他の定着予防外来種

国内に導入されているが、自然環境における定着は確認されていない種。

生物を移動させる＝外来種問題のおそれ!?

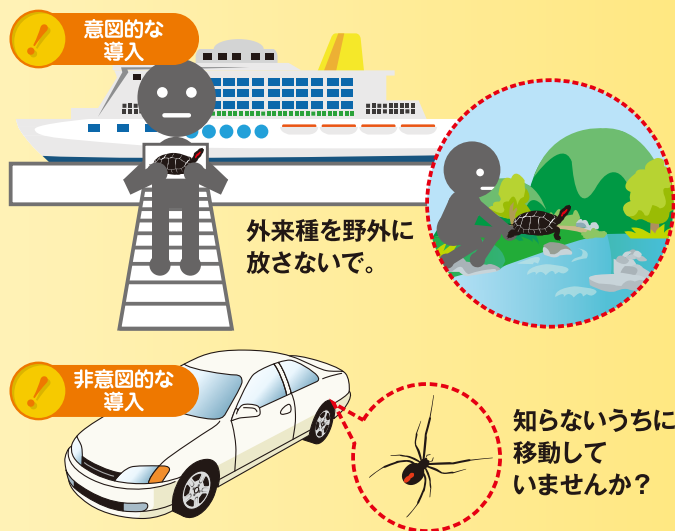
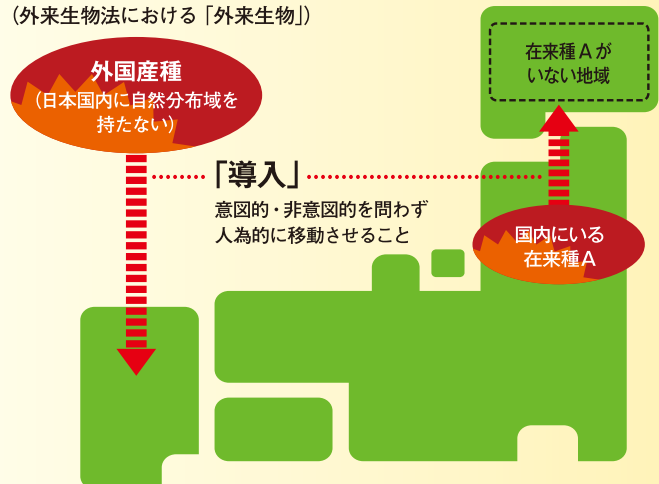
“外来種”とは、「人の活動によって本来の分布域の外の国や地域に導入（移動）された生物種」のことを言います。対して、本来の分布域に生息・生育する生物を“在来種”といいます。外来種とは、海外から日本に持ち込まれた生物（**国外由来の外来種**）のことを表すと思われがちですが、日本の在来種であっても、本来の分布域が日本の一部であ

る場合、国内の分布していない地域に導入（移動）されれば、“外来種”となります。このような外来種のことを「**国内由来の外来種**」と呼んでいます。

また、外来種の中でも、生態系や農林水産業、または人の健康に大きな被害を及ぼすもののことを「**侵略的外来種**」といいます。

国外由来の外来種

(外来生物法における「外来生物」)

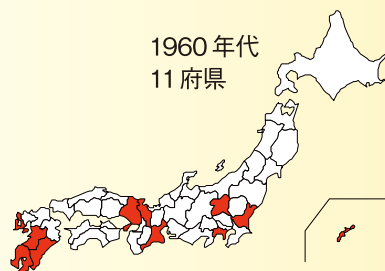


急激に分布を拡げたオオクチバス

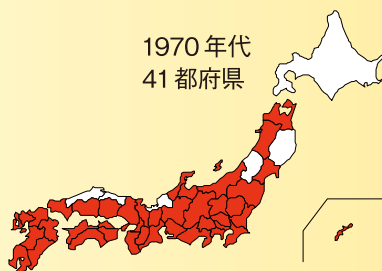


「オオクチバス」(原産地:アメリカ中東部等を原産)は、“ブラックバス”という名で広く知られています。日本には、1925年に神奈川県芦ノ湖に放流され、そこから長崎県白雲の池(1930年)、群馬県田代湖(1935年)と、各地

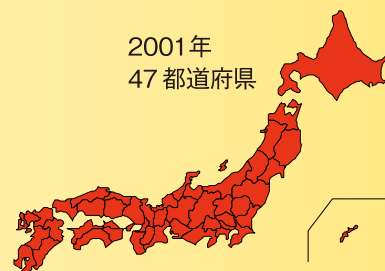
への放流が進みました。1970年代になると一気に全国各地に放流が進み、2001年には全国各地で確認されるに至りました。本種が入り込んだ水域では、在来魚や昆虫が捕食されることで、生態系に大きな被害が及びます。



1960年代
11府県



1970年代
41都府県



2001年
47都道府県

外来生物法

生態系等への被害を及ぼすおそれのある生物を**特定外来生物**として指定し、飼育・栽培、運搬、輸入、野外への放出、譲渡などが規制されます。同じく同法に基づき指定される**未判定外来生物**は、輸入時に事前届出が必要です。

外来生物法で規制される事項 これらの規制に違反をすると、最高で懲役3年、罰金300万円(個人)又は1億円(法人)が科される場合があります。



一人一人の行動が大切です。 リストを知って、 次の3つを守りましょう!!

外来種被害予防三原則

1

悪影響を及ぼすおそれのある
外来種を

“入れない”

外来種問題を引き起こさないために、一番大切なことです。外来種を入れなければ問題は起きません。

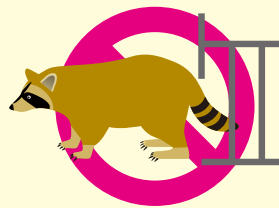


2

飼育・栽培している
外来種を

“捨てない”

入れた外来種は、適切に管理（捨てない、逃がさない、放さない）しなければいけません。ペットや観葉植物は、最後まで管理する責任があります。

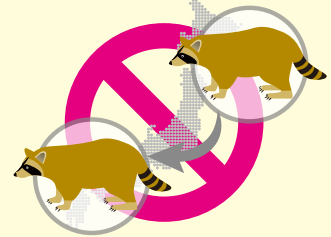


3

すでに野外にいる外来種を
他地域に

“拡げない”

すでに野外に定着してしまっている外来種は、まだ定着していない地域に拡げないことが大切です。これ以上問題を拡げてはいけません。



平成 28 年 3 月発行

編集・発行：環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室

編集：一般財団法人 自然環境研究センター

デザイン：株式会社ハップ

生態系被害防止外来種リスト 平成 28 (2016) 年 3 月時点

表の見方

緊急対策外来種

重点対策外来種

その他の総合対策外来種

産業管理外来種

侵入予防外来種

その他の定着予防外来種

特

特定外来生物

未

未判定外来生物
(輸入時に事前届出が必要)

〈補足〉

・本リスト掲載種が交雑することにより生じた生物も同様に注意が必要です。

・「国内由来の外来種」には、「国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種」が含まれています。現在は、「軟体動物 自然分布域外のサシグロタマツメタ」のみ。

哺乳類 (35 種類)	
タイワンザル	特
アカゲザル	特
ノネコ (イエネコの野生化したもの)	
ファイリマングース	特
アライグマ	特
キョン	特
ノヤギ (ヤギの野生化したもの)	
クリハラリス (タイワンリス)	特
キタリス	特
クマネズミ	
ヌートリア	特
カイウサギ (アナウサギ)	
ハリネズミ属 (アムールハリネズミ (マンシュウハリネズミ) など)	特
ハクビシン	
ノイヌ (イヌの野生化したもの)	
アメリカミンク (ミンク)	特
ノブタ・イノブタ (ブタ・イノブタの野生化したもの)	
シカ属 (国内産ニホンジカを除く)	特
シマリス (チョウセンシマリス)	
ハツカネズミ	
マスカラット	特
ドブネズミ	
リスザル	
ジャワマングース	特
フクロギツネ	特
カニクイザル	特
シママングース	特
フェレット	
カニクイアライグマ	特
アキシスジカ (アキシスジカ) 属	特
ダマシカ属	特
シフゾウ	特
タイリクモモンガ	特
トウブハイイロリス	特
フィンレイソンリス	特

鳥類 (15 種類)	
インドクジャク	
カナダガン	特
ガビチョウ	特
カオグロガビチョウ	特
カオジロガビチョウ	特
ソウシチョウ	特
コリンウズラ	
コウライキジ (大陸産亜種)	
コブハクチョウ	
クロエリセイタカシギ	

ワカケホンセイインコ	
シロガシラ	
ヒゲガビチョウ	未
シリアカヒヨドリ	
外国産メジロ	

爬虫類 (21 種類)	
カミツキガメ	特
アカミミガメ	
グリーンアノール	特
タイワンスジオ	特
タイワンハブ	特
グリーンイグアナ	
ミナミシシガメ	
チュウゴクスッポン	
スインホーキノボリトカゲ (スウィンホーキノボリトカゲ)	
ワニガメ属	
ニシキガメ属	
チズガメ属 3 種 (ミシシippチズガメ、フトマユチズガメ (サビーンチズガメを含む)、ニセチズガメ)	
クーターガメ属	
チュウゴクセマルハコガメ	
ハナガメ	
アメリカスッポン属	
ブラウンアノール	特
特定外来生物のアノール属 (グリーンアノール、ブラウンアノールを除く)	特
ヒョウモントカゲモドキ	
ミナミオオガシラ	特
特定外来生物のオオガシラ属 (ミナミオオガシラを除く)	特

両生類 (13 種類)	
オオヒキガエル	特
チュウゴクオオサンショウウオ	
ウシガエル	特
シロアゴガエル	特
アフリカツメガエル	
コキーコヤスガエル	特
ジョンストンコヤスガエル	
オンシツガエル	未
キューバツツキガエル (キューバアマガエル)	特
特定外来生物のヒキガエル属 (オオヒキガエルを除く)	特
ヨーロッパミドリヒキガエルなどヒキガエル属 5 種 (ヨーロッパミドリヒキガエル、テキサスミドリヒキガエル、ナンブヒキガエル、ガルフコーストヒキガエル、ロココヒキガエル (キャハンヒキガエル))	
アジアジムグリガエル	
ヘリグロヒキガエル	未

魚類 (55 種類)	
チャネルキャットフィッシュ (アメリカナマズ)	特
ブルーギル	特
コクチバス	特
オオクチバス	特
タイリクバラタナゴ	
カダヤシ	特
オオタナゴ	
ハクレン	
コクレン	
ソウギョ	
アオウオ	
パールダニオ	
ゼブラダニオ	
アカヒレ	
カラドジョウ	
スノープレコ	
マダラロリカリア	
アマゾンセイルフィンキャットフィッシュ	
ウォーキングキャットフィッシュ	
ヒレナマズ	
コウライギギ	
カワマス	
ペヘレイ	
ソードテール	
グッピー	
インディアンガラスフィッシュ	
ブルーティラピア	
カワスズメ	
ナイルティラピア	
ジルティラピア	
コンヴィクトシクリッド	
ニジマス	
ブラウントラウト	
レイクトラウト	
ブラウンブルヘッド	未
フラットヘッドキャットフィッシュ	
ホワイパーチ	未
ラッフ	未
ラウンドゴビー	
ガー科	
レッドホースミノー	
オリノコセイルフィンキャットフィッシュ	
ヨーロッパナマズ	
ノーザンパイク	特
マスキーパイク	特
パイク科	未
ガンブシア・ホルブローキ	未
ケツギョ	特
コウライケツギョ	特
ナイルパーチ	
ストライプトバス	特
ホワイバス	特

生態系被害防止外来種リスト 平成28(2016)年3月時点

表の見方	緊急対策外来種	産業管理外来種	侵入予防外来種	特 特定外来生物
	重点対策外来種		その他の定着予防外来種	未 未判定外来生物 (輸入時に事前届出が必要)
	その他の総合対策外来種			

〈補足〉・本リスト掲載種が交雑することにより生じた生物も同様に注意が必要です。
・「国内由来の外来種」には、「国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種」が含まれています。現在は、「軟体動物 自然分布域外のサキグロタマツメタ」のみ。

ヨーロッパアンバー	特
バイクパーチ	特
スポッテッドティラピア	

ラストティークレイフィッシュ	特
ケラクス属	特
外国産モクスガニ属	特

動物〔国内由来〕

哺乳類（6種類）



伊豆諸島などのニホンイタチ
奥尻島・屋久島のタヌキ
北海道・佐渡のテン
対馬以外のチョウセンイタチ
徳之島などのニホンイノシシ
新島などのニホンジカ

爬虫類（5種類）



沖縄諸島のヤエヤマセマルハコガメ
沖縄諸島及び宮古諸島のヤエヤマシガメ
琉球列島のニホンスッポン
九州のオキナワキノボリトカゲ
伊豆諸島のニホントカゲ

両生類（2種類）



伊豆諸島などのアズマヒキガエル
関東以北及び島に侵入したヌマガエル

魚類（4種類）



琵琶湖・淀川以外のハス
東北地方などのモツゴ
九州北西部及び東海・北陸地方以東のギギ
近畿地方以東のオヤニラミ

昆虫類（2種類）



伊豆諸島などのリュウキュウツヤハナムグリ
北海道・沖縄のカブトムシ本土亜種

軟体動物（1種類）



自然分布域外のサキグロタマツメタ

昆虫類（20種類）



アルゼンチンアリ	特
アカカミアリ	特
ツマアカスズメバチ	特
カンショオサザウムシ	
ホソオチョウ（ホソオアゲハ）	
アカボシゴマダラ大陸亜種（名義タイプ亜種）	
シロテンハナムグリ台湾亜種（サカイシロテンハナムグリ）	
クビアカツヤカミキリ（クロジャコウカミキリ、アロミア・ブンギ）	
フェモラータオオモモフトハムシ	
チャイロネッタイスズバチ	
ナンヨウチビアシナガバチ	
セイヨウオオマルハナバチ	特
クモテナガコガネ属	特
ヒメテナガコガネ属	特
ヒアリ（アカヒアリ）	特
コカミアリ	特
アフリカミツバチとアフリカ化ミツバチ	
外国産クワガタムシ	
外国産カブトムシ	
外国産テナガコガネ属	特

軟体動物（20種類）



カワヒバリガイ属	特
スクミリンゴガイ	
ラブラタリンゴガイ	
アフリカマイマイ	
ヤマヒタチオビ	特
シマメノウフネガイ	
コモチカワツボ	
カラムシロ	
ハブタエモノアラガイ	
オオクビキレガイ	
マダラコウラナメクジ	
ムラサキガイ	
ミドリイガイ	
コウロエンカワヒバリガイ	
タイワンシジミ	
イガイダマシ	
ホンビノスガイ	
シナハマグリ	
カワホトギスガイ	特
クワガガイ	特

その他の無脊椎動物（7種類）



ニューギニアヤリガタリクウスズムシ	特
ヨーロッパザラボヤ	
マツノザイセンチュウ	
カニヤドリカンザシ	
カサネカンザシ	
ヤンバルトサカヤスデ	
ムネミオブシス・レイディ	

クモ・サソリ類（8種類）



ハイイロゴケグモ	特
セアカゴケグモ	特
クロゴケグモ	特
アトラクス属	特
ハドロニューケ属	特
イトグモ属3種	特
ジュウサンボシゴケグモ等の国内未侵入のゴケグモ属	特
キョクトウサソリ科	特

甲殻類（15種類）



ウチダザリガニ（タンカイザリガニを含む）	特
アメリカザリガニ	
タテジマフジツボ	
アメリカフジツボ	
ヨーロッパフジツボ	
キタアメリカフジツボ	
フロリダマミズヨコエビ	
チチュウカイミドリガニ	
ディケログマルス・ヴィロース	
ヨーロッパミドリガニ	
アスタクス属	特
ミステリークレイフィッシュ	

- 本リストの掲載種検索及びPDF版のダウンロードができます。次のページにアクセスしてください。

・生態系被害防止外来種リスト

<http://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/iaslist.html>



- 日本の外来種対策について以下のページで紹介しています。

・日本の外来種対策

<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>



表 の 見 方	緊急対策外来種	産業管理外来種	侵入予防外来種	特定外来生物	〈補足〉・本リスト掲載種が交雑することにより生じた生物も同様に注意が必要です。 ・「国内由来の外来種」には、「国内に自然分布域を持つ国外由来の外来種」が含まれています。現在は、「軟体動物 自然分布域外のサキグロタマツメタ」のみ。
	重点対策外来種		その他の定着予防外来種	未判定外来生物	
	その他の総合対策外来種			(輸入時に事前届出が必要)	

植物〔国外由来〕

木本植物 (45 種)



トクサバモクマオウ (トキワギョリュウ)
パンノキ
ソウシジュ (タイワンアカシア)
ナガバアカシア (アカシア・ロンギフォリア)
モリシマアカシア (ブラックワトル)
メラノキシロンアカシア (ブラックウッドアカシア、アカシア・メラノキシロン、メラノキシロンアカシア)
イタチハギ (クロバナエンジュ)
ギンネム (ギンゴウカン、タマザキセンナ)
ニワウルシ (シンジュ)
テリハバンジロウ (シマフトモモ、ストロベリーグアバ、イチゴグアバ)、キミノバンジロウ (キバンジロウ、キバンザクロ、イエローストロベリーグアバ)
トウネズミモチ
シチヘンゲ (ランタナ、コウオウカ)
ダイオウナスビ
フサフジウツギ (ニシキフジウツギ、チチブフジウツギ、ブッドレア)
ヒイラギナンテン
ピラカンサ類
エニシダ (エニスダ)
ナンキンハゼ
フヨウ
フトモモ
カミヤツデ (ツウソウ (通草)、ツウダツボク (通脱木))
タワダギク
トウ属の一種 (カラムス)
キウイフルーツ (シナサルナシ)
ビワ (ヒワ)
ハリエンジュ (ニセアカシア)
モウソウチクなどの竹類
ヨーロッパハンノキ (オウシュウクロハンノキ、セイヨウヤマハンノキ、グルチノーザハンノキ)
フランスゴムノキ (コバノゴムビワ、コバノゴム)
ヤツデグワ (ガルモ)
ケクロビア・シュレベリアナ
シマトベラ (トウソヨゴ)
ノルウェーカエデ (ヨーロッパカエデ)
アメリカハナノキ (ベニカエデ、アカカエデ)
ホソグミ (ロシアンオリーブ、ヤナギバグミ、スナナツメ)
タマリクス属雑種 (ギョリュウ)
タチバナアデク (ビタンガ、スリナムチェリー、ブラジリアンチェリー、カイエンチェリー、カボチャアデク)
ムラサキフトモモ (アマゾンオリーブ、ジャンボラン、ヨウミャクアデク、メシゲラック、ムレザキフトモモ)
アメリカクサノボタン (クリデミア・ヒルタ)
シェフレラ・アクチノフィラ (ブラッサイア、オクトパスツリー)
コウトウタチバナ (セイロンマンリョウ、ウミベマンリョウ)
オオバナアサガオ (インドゴムカズラ)
ネコノツメ (トラノツメ、マクファディエナ)
ダイサンチク (タイサンチク、キンシチク)
シマケンチャヤシ (ユスラヤシモドキ)

草本植物 (陸生植物) (108 種)



アレチウリ
オオキンケイギク (コレオプシス・ランケオラータ)
ツルヒヨドリ (コバナツルギク、ミカニア・ミクランサ)
オオハンゴンソウ (ルドベキア・ラキニアータ、ハナガサギク、ヤエザキハンゴンソウ、ヤエザキオオハンゴンソウ)

特

未

特

ナルトサワギク (コウベギク)
アメリカハマグルマ (ミツバハマグルマ、ホコガタギク、ウェデリア・トリロバータ)
コゴメミズ (コメバコケミズ、ピレア・ミクロフィラ)
バクヤギク (エドゥリス、莫邪菊)
ヒメマツバボタン (ケツメクサ、ケヅメグサ)
ウチワサボテン属
ナガエモウセンゴケ (ナガエノモウセンゴケ、ドロセラ・インターメディア) 等の外来モウセンゴケ類
セイロンベンケイ (トウロウソウ、セイロンベンケイソウ、ハカラメ)
シュッコンルピナス (ルピナス、タヨウハウチワマメ、ノボリフジ)
アフリカホウセンカ (インパチェンス、インパティエンス)
コマツヨイグサ (キレハマツヨイグサ)
ヒメイワダレソウ (ヒメイワダレ)
ツルニチニチソウ
モミジバヒルガオ (タイワンアサガオ、モミジヒルガオ、モミジバアサガオ、モミジアサガオ、イボメア・カイリカ)
外来ノアサガオ類
オオブタクサ (クワモドキ)
セイタカアワダチソウ (セイタカアキノキリンソウ)
オオアワダチソウ
外来性タンポポ种群
アオノリュウゼツラン (リュウゼツラン、アガベ・アメリカナ)
アツバキミガヨラン (ユッカラン、ユッカ)
ノハカタカラクサ (トキワツユクサ、トラデスカンティア・フルミネシス)
オオハマガヤ (アメリカハマニンニク、アメリカカイガンソウ、アメリカンビーチグラス)
モンツキガヤ (アイダガヤ、ナンゴクヒメアブラススキ)
シナダレスズメガヤ (ウイーピングラブグラス、セイタカカゼクサ、セイタカスズメガヤ、タレスズメガヤ)
ヨシススキ (エリアンサス・アルンディナセウス、サッカラムパープルピープルグリーター)
ミカヅキゼニゴケ
ウロコハタケゴケ
サビイロハタケゴケ
コンテリクラマゴケ (モエギヒバ、レインボーファーン)
シャクチリソバ (シュッコンソバ、ヒマラヤソバ)
カライタドリ
ヒメツルソバ (カンイタドリ)
ヒメスイバ
ナガバギンギシ (チジミスイバ)
エゾノギンギシ (ヒロハギンギシ)
ツルドクダミ (カシュウ、何首烏)
ジュズサンゴ
ツルムラサキ
ムシトリナデシコ (ハエトリナデシコ、コマチソウ)
マンテマ (マンテマン)
ホコガタアカザ (アレチハマアカザ)
ハカマオニゲシ (ボタンゲシ)
アツミゲシ (セチゲルゲシ、セチゲルムゲシ)
ハルザキヤマガラシ (フユガラシ、セイヨウヤマガラシ)
セイヨウカラシナ (カラシナ)
オニハマダイコン
アレチヌスビトハギ
オオキバナカタバミ (キイロハナカタバミ)
コフウセンカズラ
アカボシツリフネ (アカボシツリフネソウ、ケーブツリフネ、ケーブツリフネソウ)
クサトケイソウ (パッシフローラ・フォエティダ、ワイルドパッションフルーツ)
ドクニンジン

生態系被害防止外来種リスト

平成 28 (2016) 年 3 月時点

表 の 見 方		緊急対策外来種		産業管理外来種		侵入予防外来種
		重点対策外来種		その他の定着予防外来種		特定外来生物
		その他の総合対策外来種				未判定外来生物 (輸入時に事前届出が必要)

オオフトバムグラ
アメリカネナシカズラ
ホシアサガオ
ナガボソウ属
アレチハナガサ類 (アレチハナガサ、ダキバアレチハナガサ、ヤナギハナガサ (サンジャクバーベナ)、ヒメクマツヅラ (ハマクマツヅラ))
チョウセンアサガオ属
ヤナギバイルソウ (ムラサキセイハナビ、ルエリア・ブリトリアナ、リュエリア、メキシコペチュニア)
カッコウアザミ、ムラサキカッコウアザミ (オオカッコウアザミ)、アゲラタム (総称名)
ワタゲハナグルマ、ワタゲツルハナグルマ (アークトセカ・カレンジュラ)
ネバリノギク
ユウゼンギク
アメリカセンダングサ
タチアワユキセンダングサ (オオバナセンダングサ)
ヒマワリヒヨドリ
栽培キク属
アメリカオニアザミ
ケナシヒメムカシヨモギ (ケナシムカシヨモギ)
ハルシャギク
ヒメジョオン
ペラペラヨメナ (ペラペラヒメジョオン、メキシコヒナギク、エリゲロン・カルビンスキアヌス、源平小菊、ゲンペイコギク)
マルバフジバカマ (ユーパトリウム・チョコレート)
コウリンタンポポ (エフデタンポポ)
キバナコウリンタンポポ (ノハラタンポポ、キバナノコリンタンポポ)
フランスギク
アラゲハンゴンソウ (キヌガサギク、ルドベキア・ヒルタ、グロリオサ・デージー)
オオオナモミ
シンテッポウユリ (新鉄砲ユリ、タカサゴユリ)
ハナニラ (セイヨウアマナ)
ヒメヒオウギズイセン (ヒメヒオオギズイセン、モントブレチア)
メリケンカルカヤ
ハルガヤ (スイートバーナルグラス)
シロガネヨシ (パンパスグラス)
オオクサキビ
シマスズメノヒエ (ダリスグラス)
タチスズメノヒエ (ベイジーグラス)
ムラサキタカオススキ
セイバンモロコシ (ジョンソングラス)
ハナシュクシャ (シュクシャ、バタフライジンジャー)
外来クサフジ類 (ビロードクサフジ (ヘアリーベッチ、シラゲクサフジ)、ナヨクサフジ (スムーズベッチ))
コヌカグサ (レッドトップ)、クロコヌカグサ
カモガヤ (オーチャードグラス)
オニウシノケグサ (トールフェスク、ケンタッキー 31 フェスク)
ドクムギ属 (イタリアンライグラス、ペレニアルライグラス等)
ギネアキビ (ギニアグラス、ギネアキビ、イヌキビ)
アメリカスズメノヒエ (バヒアグラス、オニスズメノヒエ)
ナピアグラス (ネピアグラス、エレファントグラス、ペルーグラス)
オオアワガエリ (チモシー)
ナギナタガヤ (ネズミノシッポ)
ビーチグラス
ベンガルヤハズカズラ (ウリバローレルカズラ)
アツバチトセラン (サンセベリア、サンセベリア・トリファッシアータ、チトセラン、トラノオラン)

草本植物 (水生植物) (37 種)



外来アゾラ類 (外来アゾラ、外来アカウキクサ)
ナガエツルノゲイトウ (ミゾツルノゲイトウ、ミズツルノゲイトウ)

特

特

オオバナミズキンバイなどを含むルドウィギア・グランディフロラ
オオフサモ (パロットフェザー、スマフサモ、ヌマフサモ)
ブラジルチドメグサ
オオカワヂシャ (オオカワジサ)
ミズヒマワリ (ギムノコロニス)
スバルティナ属
ボタンウキクサ (ウオーターレタス)
オオサンショウモ (サルビニア・モレスタ)
ハゴロモモ (フサジュンサイ、カモンバ、カボンバ、グリーンカボンバ、カボンバ・カロリニアーナ)
園芸スイレン
オランダガラシ (クレソン、ウオータークレス、ミズガラシ、オランダミズガラシ)
アメリカミズユキノシタ (ルドウィギア・レペンス、レッドルドウィギア)
ウチワゼニクサ (タテバチドメグサ、ウチワゼニグサ、ウオーターマッシュルーム、ウオーターコイン、ウオーターベニーウオート)
イケノミズハコベ
ハビコリハコベ (グロッソスティグマ、グロッソスティグマ・エラティノイデス、グロッソ)
オオバナイトタヌキモ (ウトリクラリア・ギッパ)
エフクレタヌキモ (ウトリクラリア・インフラタ)
ヒロハオモダカ (ジャイアントサジタリア)
ナガバオモダカ (サジタリアウエザービアナ、ジャイアントサジタリア、サギッタリア・グラミネア)
オオカナダモ (アナカリス)
コカナダモ
クロモドキ (ラガロシフォン・マヨール)
アマゾンチカガミ (アマゾンフロッグビット、リムノビウム・ラエビガータム)
外来セキショウモ (オオセキショウモ (ジャイアントバリスネリア)、セイヨウセキショウモ (バリスネリア・スピラリス)、コウガイセキショウモ)
ホテイアオイ (ウオーターヒヤシンス、ホテイソウ)
キショウブ
コゴメイ
チクゴスズメノヒエ
アサハタヤガミスゲ
シュロガヤツリ (カラカサガヤツリ)
メリケンガヤツリ (オニシロガヤツリ)
ウキアゼナ (バコパ・ロトンディフォリア、カラカワクサ)
キシュウスズメノヒエ (カリマタスズメノヒエ)
アメリカヤガミスゲ
クラススラ・ヘルムシー (クラススラ・ヘルムシー、クラススラ、クラウスラ・ヘルムシー)

特

特

特

特

特

特

特

植物〔国内由来〕

木本植物 (6 種)



小笠原諸島・奄美諸島などのアカギ
小笠原諸島などのリュウキュウマツ (リュウキュウアカマツ、オキナワマツ)
小笠原諸島などのガジュマル
小笠原諸島などのシマグワ
屋久島などのアブラギリ (ドクエ)
九州北部以北の森林内などのシュロ類

草本植物 (陸生植物) (3 種)



白山などの高山帯のコマクサ
高山帯のオオバコ
山地のギンギシ

草本植物 (水生植物) (1 種)



変異種のイチイヅタ (キラー海藻、フェザー・カウレレバ)
